

(1) 合格基準点

学科試験の合格は、**各科目**が合格基準点(足切点)を超え、**全科目**の合計が合格基準点に達していることである。

各科目の足切点は、**毎年50%**を超えた点数(Ⅰ計画11点、Ⅱ設備11点、Ⅲ法規16点、Ⅳ構造16点、Ⅴ施工13点)である。

ただし、H27は、Ⅱ設備がかなり難しく1点低い10点となったので、今後も正解率により±1点の補正がかかる判断できる。

5科目の合計(合格基準点)は、毎年、全受験者に対して上位者15~20%の範囲で決定されている。その点数は、125問に対して、**90点±4点**となっている(表1参照)。ただし、新試験制度が始まったH21及びR1は、比較的過去問の出題が多く、合格率が20%程度まで総得点が上昇し、97点が合格基準点となった。

H21及びR1は過去問が多く合格率20%程度では97点が総合点となった

表1 学科試験の各科目と総得点の合格基準点

	Ⅰ計画 (20点)	Ⅱ環境・設備 (20点)	Ⅲ法規 (30点)	Ⅳ構造 (30点)	Ⅴ施工 (25点)	総得点 (125点)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	合格率 (%)
平成21年	11	11	16	16	13	97	42,569	8,323	19.6
平成22年	11	11	16	16	13	88	38,476	5,814	15.1
平成23年	11	11	16	16	13	87	32,843	5,171	15.7
平成24年	11	11	16	16	13	94	29,484	5,361	18.2
平成25年	11	11	16	16	13	92	26,801	5,103	19.0
平成26年	11	11	16	16	13	90	25,395	4,653	18.3
平成27年	11	10	16	16	13	92	25,804	4,806	18.6
平成28年	11	11	16	16	13	90	26,096	4,213	16.1
平成29年	11	11	16	16	13	87	26,923	4,946	18.4
平成30年	11	11	16	16	13	91	25,878	4,742	18.3
令和元年	11	11	16	16	13	97	25,132	5,729	22.8

※足切点(青色=合計67点)から合格90点を目指すのは自由 ⇒法規25点(正解率83%)なら他科目68%で90点

目標点	14	14	25	20	17	90
-----	----	----	----	----	----	----

←法規を確実に25点取って合格

H27のⅡ設備は例年に比較してかなり難しく科目の合格率から-1点の補正がかかった

(2) 得点分布

受験者の得点に対する人口分布は、**図1**の状況と推定する(研究会の推定図)。

最も人数の多いのは、合格基準点となる90点前後であり、1点の比率は全受験者の約3%と推定する。1級建築士(学科試験)の受験者は概ね2.5万人であり、その3%は約750人であり、90点前後の1点には約750人がいると推定する(1点が重要)。

【分布比率】

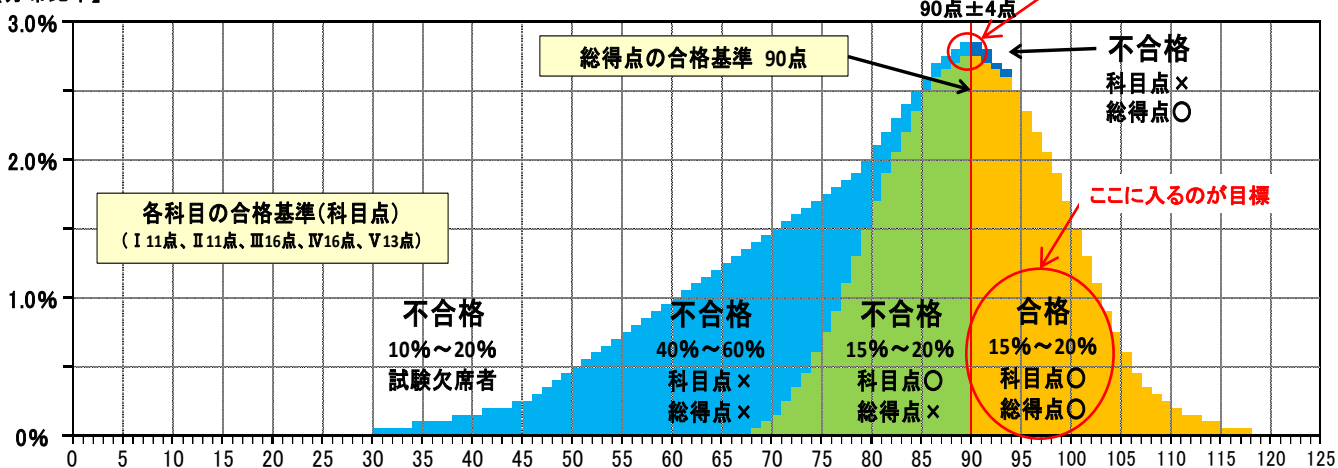


図1 総得点の合格基準90点とした学科合格の推定イメージ図

注) 図1は、数百名からの聞き取りを基に総得点90点を学科試験の合格とした場合の推定イメージ図ですので、あくまで参考として見て下さい。